

# 令和6年度（2024年度） 技術・家庭科（技術分野） 年間指導計画【第3学年】

評価 方法	ア 授業態度、発言 オ 作品	イ ワークシート カ 課題レポート	ウ ワークブック キ 作業記録表	エ 定期考査 ク 振り返りシート
----------	-------------------	----------------------	---------------------	---------------------

教科横断的視点：他教科関連（教科名） 内容

月	単元	時数	学習内容	評価規準		
				知識・技能 (ア、エ、オ)	思考・判断・表現 (ア、エ、オ、カ、)	主体的に学習に取り組む態度 (ア、イ、ウ、カ、キ、ク)
4	情報の技術	2	情報モラル <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">道徳</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">法の理解と遵守</span>	情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる知識を身につけている。		情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。
5		7	プログラムの制作 ・順次処理 ・反復処理 ・メロディーの作成、入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に応じてプログラムの制作・編集ができる。</li> <li>・プログラムの制作に関する知識を身につけている。</li> <li>・ソフトウェアを使用して、基本的な画像の処理ができる。</li> <li>・ソフトウェアの特徴と利用方法に関する知識を理解している。</li> </ul>	問題解決のためのプログラムの制作の過程、問題解決の結果を評価して、プログラムの改善と修正について考えている。	自分なりの新しい知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
6						
7						
9		7	プログラムの制作 ・分岐処理 ・グループによるプログラム ・パネルのデザインと製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に応じてプログラムの制作・編集ができる。</li> <li>・プログラムの制作に関する知識を身につけている。</li> <li>・ソフトウェアを使用して、基本的な画像の処理ができる。</li> <li>・ソフトウェアの特徴と利用方法に関する知識を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決のためのプログラムの制作の過程、問題解決の結果を評価して、プログラムの改善と修正について考えている。</li> <li>・ソフトウェアを使用して、自らの考えを表現する方法の工夫について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの新しい知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</li> <li>・作品の構成等を改善しながら、よい作品を製作しようとしている。</li> </ul>
10						
11						
12						
1		1	プログラムの制作 双方向性のあるコンテンツ	双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。	コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価して、プログラム改善と修正について考えている。	自らの問題解決を振り返り、よりよいものになるように、改善、修正しようとしている。
2		1	これからの情報の技術	持続可能な社会の構築のために必要なこれからの情報の技術の概念を理解している。	持続可能な社会の構築に向けて、これからの情報の技術を評価し、適切な選択、運用、改良について考えている。	持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
3		2	製図	課題に応じて図を描くことができる。	図の制作の過程、問題解決の結果を評価し、改善と修正について考えている	作成した図の構成等を改善しながら、より良いものにしようとしている。